

留守の間に図書館の人より電話があつて、図書館だよりに関心文章を書いてもらえないかとのこと。どうして私がよく図書館を利用して、返却期間を過ぎたりするので、いつの間にか覚えられてしまったのだろうか。いつか返却期限を過ぎた本をそーっと返しに行つて、ありがたうございましたあと大きな声をかけられたこともあつた。

ひばりが丘図書館は自宅からも近く、駅の方へ買い物に出かけた時や、散歩がてらにと気軽に立ち寄つては利用している。休日の午後、どこにも出かけるあてもないようなときなど図書館に行くのは、ほとんど私の日課あるいはひとつの習性になつている。テーマに沿つて少しまとまつたことを調べようとして、資料を探しに出かけることもあるが、大抵はこの本を探そうとか借りようとかいうのではなく、何の目的もなくふらりと訪ねることが多い。まず新しく購入した図書のコナーをのぞいてみる。さまざまなジャンルの本をばらばらページをめくつてゆくと、うちにこれは面白そうだ、ゆつくり読んでみたいと思う本が、いつ行つても不思議なことには必ずある。そしてつい衝動借りしてしまう。根が単純だから、何か得をしたような幸せな気分になる。本

わたしと図書館
図書館の楽しみ
川島 明



の衝動買いとは違つて、本の重みで床が抜ける、家が傾くなどと家内に叱られることもない。一度に十冊も借りられるのだからそれを借りようかと迷うこともない。その分欲張りすぎて、消化不良というか読み切れずに返却期限を迎えてしまう場合も少なくないが、親しみやすい図書館が身近にあつて、いつでも利用できる。当たり前のことのようだがこれは実に有り難いことだ。開館時間が延長されて夜も利用できるようなつたり、本の検索が簡単になつたり、ほかの図書館から希望の本を取り寄せることもできるなど、図書館はますます便利に利用しやすくなつていく。読書とおして私たちは、さまざまな人の生き方や考えに触れることができ、世界を広げ、人生を豊かなものにすることができ。さまざまな情報を与えてくれる場として、わくわくするような本との出会いを提供する場として図書館は、とても大きな役割を果たしている。何の目的もなくふらりと行つてみたくなるような公共の機関が図書館以外にそうあるだろうか。これからは気軽に訪ねていろいろな本との出会いを楽しみたい。そして衝動借りはこれからも当分続きそうである。

「にんにん西東京」第一号

カウンターで配布しています



- 1 図書館
 - 2 コール田無
 - 3 市民会館
 - 4 こもれびホール
 - 5 児童館
 - 6 スポーツセンター&総合体育館
 - 7 公園
- 私たちが住むまちを調べてみよう、という学習を始める小学校3年生を対象に、わかりやすく西東京市を紹介した冊子を作りました。今回は、第1号として、「西東京市の各施設ができるまで」をテーマに選びました。内容は次のとおりです。
- 今後一年に一冊ずつ、皆さんが知りたい聞きたいという西東京市の情報を選んで、右京さんと共にお伝えします。よろしくお願ひします。

人形劇のお知らせ

- ▼柳沢図書館
「いっすんぼうし」(劇団貝の火)
日時 7月17日(土)午前10時30分から
場所 保谷公民館視聴覚室
定員 100名
※7月1日(木)から整理券配布。
- ▼谷戸図書館
「こひつじとつゆの笛」(人形劇団ポポロ)
日時 7月30日(金)午後2時から
場所 谷戸公民館視聴覚室
定員 100名
※7月16日(金)から整理券配布。
- ▼下保谷図書館
「ねずみとすもう」(劇団エツコ・ワールド)
日時 8月3日(火)午後2時から
場所 下保谷図書館集會室
定員 100名
※7月20日(火)から整理券配布。